

義なる神

シリーズ～預言者の声～

2022/7/3

預言者イザヤの時代

- 南ユダ王国後期

- 「ウジャ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの治世」1:1

- ウジャ王時代の繁栄（歴代誌下26章）

- 「ウジャの勢いはこの上もなく増大し、その名声はエジプトに近い地方にまで届いた。」26:8
- 「多数の家畜が飼われ、山地や肥沃な地には農夫やぶどう作りがいた」10
- 「ウジャは戦いに備えて訓練された軍隊を持っていた」11

- ウジャ王が死んだ年に預言者として召された

- 天にある主の神殿の幻を見、唇をきよめられる
- 主の問いかけに応え、語る者となる

ウジャ王が残した負の遺産

- 経済的・軍事的豊かさ

- 「この国は銀と金とに満たされ／財宝には限りがない。この国は軍馬に満たされ／戦車には限りがない。」2:7
- 「災いだ、家に家を連ね、畑に畑を加える者は。お前たちは余地を残さぬまでに／この地を独り占めにしている。」5:8

- 傲慢

- 「災いだ、自分の目には知者であり／うぬぼれて、賢いと思う者は。5:21
- 「彼らが万軍の主の教えを拒み／イスラエルの聖なる方の言葉を侮ったからだ。」24

ウジャ王が残した負の遺産

- 強者が弱者を食い物にする
 - 「善を行うことを学び／裁きをどこまでも実行して／搾取する者を懲らし、孤児の権利を守り／やもめの訴えを弁護せよ。」1:17
 - 「主は裁きに臨まれる／民の長老、支配者らに対して。「お前たちはわたしのぶどう畑を食い尽くし／貧しい者から奪って家を満たした。」3:14
- 歪められた支配構造
 - 「支配者らは無慈悲で、盗人の仲間となり／皆、賄賂を喜び、贈り物を強要する。」1:23
 - 「災いだ、悪を善と言い、善を悪と言う者は。彼らは闇を光とし、光を闇とし／苦いものを甘いとし、甘いものを苦いとする。」5:20

ウジャ王が残した負の遺産

- 神殿礼拝(いけにえ)の形骸化

- 「お前たちのささげる多くのいけにえが／わたしにとって何になるろうか、と主は言われる。雄羊や肥えた獣の脂肪の献げ物に／わたしは飽いた。雄牛、小羊、雄山羊の血をわたしは喜ばない。」1:11

- 祭りの無意味化

- 「新月祭、安息日、祝祭など／災いを伴う集いにわたしは耐ええない。」1:13

- 祈りは届かない

- 「お前たちが手を広げて祈っても、わたしは目を覆う。どれほど祈りを繰り返しても、決して聞かない。」1:15

義なる神

- イザヤ書には「正義」が28回使われている
 - 「主は裁き(ミシュパト)を待っておられたのに／見よ、流血(ミスパハ)。正義(ツェダカ)を待っておられたのに／見よ、叫喚(ツェアカ)。」5:7
 - 義なる神を裏切った民への嘆き節？
- 主は正義の神
 - 「万軍の主は正義のゆえに高くされ／聖なる神は恵みの御業のゆえにあがめられる。」5:16
 - 「主なるわたしは正義を愛し、献げ物の強奪を憎む。まことをもって彼らの労苦に報い／とこしえの契約を彼らと結ぶ。」61:8

イザヤ書1章16～20節

洗って、清くせよ。悪い行いをわたしの目の前から取り除け。悪を行うことをやめ／善を行うことを学び／裁きをどこまでも実行して／搾取する者を懲らし、孤児の権利を守り／やもめの訴えを弁護せよ。

論じ合おうではないか、と主は言われる。たとえ、お前たちの罪が緋のようでも／雪のように白くなることが出来る。たとえ、紅のようであっても／羊の毛のようになることが出来る。お前たちが進んで従うなら／大地の実りを食べることが出来る。かたくなに背くなら、剣の餌食になる。主の口がこう宣言される。

義を与えられる神

- 主なる神の正義とは貧富や差別のないこと
 - 「搾取する者を懲らし、孤児の権利を守り／やもめの訴えを弁護せよ」
- 「論じ合おうではないか」との呼びかけ
 - 神の前に立ってみよ、という意味
 - もちろんすべての罪が明らかになるが…
- その罪を神はきよめられる
 - 主の前に立ち、正直に罪を言い表すなら
 - その罪が「緋(ひ)」のようでも「雪のように」「羊の毛のように」白くなる
 - 「緋(ひ)」はえんじ色の卵を産む虫

十字架によって成就した預言

- キリストの十字架によって示された神の義
 - 「神はこのキリストを立て、その血によって信じる者のために罪を償う供え物となさいました。それは、今まで人が犯した罪を見逃して、神の義をお示しになるためです。」ローマ3:25
- 言い表すことで赦される罪
 - 「自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます。」ヨハネの手紙一1:9

最終的な義の完成

- 罪に歪んだ社会

- 豊かさが生む傲慢(経済・軍事・学術)
- 二極化する社会(強者と弱者)
- 歪められた支配構造

- メシヤによる支配

- 「そのとき、ダビデの幕屋に／王座が慈しみを
もって立てられ／**その上に、治める者が、まこと
をもって座す。彼は公平を求め、正義を速やか
にもたらす。**」16:5

- 伴うべき裁き

- 「主は必ず火をもって裁きに臨まれ／剣をもつて
すべて肉なる者を裁かれる。主に刺し貫かれる
者は多い。」66:16